

令和7年度第2回「新居浜市男女共同参画審議会」会議録

日 時 令和7年10月27日（月）13：30～15：20
場 所 新居浜市消防防災合同庁舎5階 会議室1
出席者 近藤智佳会長 本田郁代副会長 岡野弥生委員 加藤啓子委員
木藤誠治委員 大野美幸委員 小山伊佐夫委員 高橋直子委員 天野裕委員
三木智子委員 脇真司委員（11名）
欠席者 池田悦子委員 石川誠委員 小野千代委員 小野雅之委員 宮前港委員
吉村卓代委員（6名）
東高出席者 和泉濤央さん 竹原優奈さん 筒井諒さん 成谷真さん 宮本和奏さん
妻鳥夢奈さん 伊藤将志先生（7名）
市出席者 沢田市民環境部長 越智男女参画・市民相談課長 岡田主任
傍聴者 2名

令和7年度第2回新居浜市男女共同参画審議会次第

（1）開会の辞

（2）協議事項

第3次新居浜市男女共同参画計画の中間見直し（案）

（3）閉会の辞

事務局	ただいまから「令和7年度第2回新居浜市男女共同参画審議会」を開催いたします。 まず、本審議会ですが、新居浜市男女共同参画審議会規則第5条第2項により、委員の過半数の出席がなければ開くことができないこととなっております。委員総数17名に対し11名の出席で、過半数を超えておりますので、本会議は成立していることをご報告いたします。なお、池田悦子委員、石川誠委員、小野千代委員、小野雅之委員、宮前港委員、吉村卓代委員につきましては、所用により欠席となっております。 また、本審議会は、新居浜市審議会等の公開に関する要綱に基づき、公開とさせていただきます。
-----	---

事務局	本審議会の議事進行につきましては、第１回審議会に引き続き、近藤会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。
近藤会長	みなさん、こんにちは。新居浜市男女共同参画審議会 会長の近藤です。本日は、第３次新居浜市男女共同参画計画の中間見直し（案）策定に向けて、有意義な話し合いの場となるよう議事進行を務めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。また、前回に引き続きまして、高校の皆さんにもお越しいただいております。大人と若い人が一緒に課題について話し合うということで、皆さん活発にお話をしていただきたいと思っております。 それでは、早速ですが協議事項に入ります。本会議における事前説明を事務局よりお願いします。
事務局	（事務局より、３点（①会議資料の確認、②前回協議のまとめ、③本日の協議内容）の説明を行う。計画案の修正点のみ議事録に記載。） ○計画内容の修正点 第２章「計画の内容」、主要課題Ⅱ「男女共同参画の意識づくり」、重点目標１「男女共同参画の視点に立った意識改革の推進」において、中間見直し時に追加した「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」という文言をすべて統一する。 ○数値目標の修正点 主要課題Ⅲの数値目標項目「新居浜市職員の副課長級以上女性管理職の割合」の令和１２年度の目標値を３３．０％から３０．０％に変更する。目標数値の３

	3. 0%は内閣府が策定した「第5次男女共同基本計画」における「副課長のみの女性管理職の割合」であったことから、同計画の基本的な方針に記載されている「指導的地位に占める女性の割合」の目標値である30.0%に変更をした。
近藤会長	ただいまの事務局の説明について、ご意見、ご質問等はありませんか。 (質疑なし)
近藤会長	ご意見がないようでしたら、差し替え後の資料④「中間見直しに関する主な協議内容について」に基づき、協議に移らせていただきます。皆さま、資料④をご覧ください。 始めに、協議内容1「第2章 計画の内容」に関するグループ討議を行います。先ほど事務局からも説明がありましたとおり、主要課題ごとの「5年後の新居浜市のために決めておいた方がいいこと」について、各グループで話し合いをします。 資料に記載されている「グループ討議のやり方」を参考に話し合っていますが、進め方について何かご質問はありますでしょうか。 (質疑なし)
近藤会長	ご意見がないようでしたら、まずは主要課題Ⅰ～Ⅲについて、グループ討議を始めたいと思います。それでは、今から20分間よろしくお願いいたします。 ・・・・・・・・・・グループ討議・・・・・・・・・・

近藤会長	それでは時間になりましたので、グループ討議を終了してください。これから5分間休憩を取らせていただきます。この間に、お手洗い、水分補給など、どうぞ自由にお過ごしください。それから、周りの方とこのテーマについて、さらに議論していただいてもけっこうです。また、事務局職員がグループで出た意見について聞いて回りますので、その際にはお答えいただきますようお願いいたします。 再開は14時26分を予定しておりますので、時間になりましたらお席にお戻りいただけますようお願いいたします。 ・・・・・・・・・・休憩・・・・・・・・・・
近藤会長	それでは時間となりましたので、審議会を再開します。先ほどのグループ討議の結果につきまして、事務局より報告をお願いします。
事務局	時間の都合上、各担当班で特に重要であると判断したご意見を中心にご報告をします。まず、主要課題Ⅰの担当班では、DVに関連する意見が多く出ておりました。その中で、DV相談をもっとしやすくするための環境づくりや、DV被害を発見した時の対策強化が挙げられました。また、どこからがDVと言えるのかという境目を明確にして周知することで、被害者が自分はDVを受けていると気づくことができるので、その辺りも決めておいた方がよいのではとのご意見がありました。 ○主要課題Ⅰ担当班で出た意見（箇条書き） 【支援】

	・ 小学校段階からのカリキュラムの作成（性教育） ・ 男女が互いの体、性に関する知識を知る機会を増加（タブー無しに） 【広報】 ・ ジェンダーについての理解促進を 60 代以上の方に積極的に行う 【相談】 ・ DV 相談支援センターの時間帯の延長（土日も） ・ 配偶者暴力相談支援センターの市民への周知、認知度UP ・ DV に関する相談窓口を増やす ・ DV 相談をもっとしやすく 【対策】 ・ DV に関する警察との協力を強化 ・ DV の疑いがある場合に積極的に関与できる条例などを策定する 【教育】 ・ どこからがDVなのかを知れる機会をつくる 【情報】 ・ 正確な情報が知りたい ・ 情報リテラシーについて市民全体に浸透せる ・ インターネットの危険性と便利性をしっかり知る 次に、主要課題Ⅱの担当班では、さまざまなジャンルの意見が出ました。その中で、3つご報告します。まず、アンコンシャス・バイアスの周知をもっと行っていく必要があるということが挙げられました。2つ目に、市民意識調査での「分野別にみる男女平等」について、年代別のグラフもあると世代ごとの考えがわかりやすいので良いのではないかという意見がありました。3つ目に、市内の企業
--	--

における男性の育児休暇取得率を明確にしてほしいとのご意見がありました。

○主要課題Ⅱ担当班で出た意見（箇条書き）

- ・ 少子高齢化なので住み良い町づくりの講座やケア施設などを増やす
- ・ 新居浜市（もしくは東予地方）に大学をつくる
- ・ 男性の育児休業率の明確な数値化
- ・ 共働き家庭が増えているので、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）

の周知

- ・ 保育士、介護士の賃金アップ
- ・ 様々な団体長の女性の登用を数値化（ボランティア団体含む）
- ・ 分野別でみる男女の平等についてのグラフを年代別で分けると、もっと分かり

やすくなるのではないか

- ・ 介護に対する対応は、やはり女性がやるべき？
- ・ 現場女子を増やす（企業の協力が必要）
- ・ 学校の制服（服装）について

次に、主要課題Ⅲの担当班でも、さまざまなジャンルの意見が出ました。まず、男女関係なく育休や短時間勤務制度が利用しやすく、子育てしやすい職場環境にすること、そのためには、アンコンシャス・バイアスの普及啓発も必要であるとの意見がありました。一方で、責任のある役職に就きたいと思える人が増える環境づくりも大切であるとの意見もありました。また、審議会等の女性委員を増やすためには、働く現役世代だけでなく、若い学生さん、もっと言えば小さい子どもたちに、市政は審議会などで話し合っているのだと教え、興味を持ってもらえるような場を提供することが必要なのではないかとの意見もありました。

	○主要課題Ⅲ担当班で出た意見（箇条書き） ・ アンコンシャス・バイアスの普及 ・ 学生のうちから市政に興味を持ってもらえる場を提供 ・ 責任のある役職に就きたい人の割合が増える街 ・ 結婚、出産後復帰しやすい ・ 結婚退職や出産退職の慣習をなくす ・ 子育てが2人で一緒に出来る環境 ・ 男性も育休が取りやすい環境 ・ 男性の短時間勤務を認めてもらいやすい環境
近藤会長	ありがとうございます。先ほどの事務局の報告内容について、皆さんの方で何かご意見、ご質問、説明内容の補足等がありますでしょうか。
委員	制服について、ジェンダー等々の言葉も出てきておりまして、今回出席していただいている東高に関しては女性もパンツは良いですというように緩和化されているようなのですが、小中学校とか、他の高校が今どうなっているかというところをお聞かせいただければと思います。
委員	南中学校では、制服を改革しようかなというところになっています。女生徒でパンツを履きたいのだけどという生徒は今のところいませんが、もし出てくるようであれば、それはOKですとするつもりです。女性がズボンを履くことについては、みなさん抵抗がないと思いますが、逆に男子生徒がスカートを履きたいと言った時に、やはりそれは認めないといけないというところで、制服をどうしようと悩んでいるところではあります。ここまできたら、男子生徒でもスカートを

	履いても良いのではないかと私個人としては考えています。そういうところで討論をするのではなく、したいことをして自分を表現できるのであれば良いのではないかなと私自身は思っております。
近藤会長	ありがとうございます。私の知るところでは、西高の女子学生のパンツは認められています。ただ、上着が短いからパンツは格好が悪いよねと女子学生に聞いたことがあります。ただ、男子学生がスカートを履いてよいかというところはわからないので、防寒の意味で女子生徒のパンツを認めているのかもしれないなと思っています。他の学校はわからないので、わかる方がいればお願いします。
オブザーバー	東高でもズボン履いている女子生徒は全校で4名ほどいます。女性生徒から言われるのはリボンのことです。女子はリボンで、男子はネクタイをつけているのですが、女子用のネクタイも用意されてはいますが、式典時、女子はリボンという決まりが残っているので、そういう意味ではまだ平等になっていないような感じがします。
近藤会長	ありがとうございます。女子のズボン認めるけど他はそのままという学校が多いのかもしれませんが。他にこのような情報がありましたら、事務局までご連絡ください。他にご意見はありませんでしょうか。 (質疑なし)
近藤会長	ご意見がないようでしたら、主要課題Ⅳ～Ⅵに関するグループ討議に移らせていただきます。

	先ほどと同様に、今から２０分間グループで協議をお願いいたします。 ・・・・・・・・・・グループ討議・・・・・・・・・・
近藤会長	それでは時間になりましたので、グループ討議を終了してください。これから５分間休憩を取らせていただきますので、その間、ご自由にお過ごしください。 また、先ほどと同様に、事務局職員がグループで出た意見について聞いて回りますので、その際はお答えいただきますようお願いいたします。 再開は１５時５分を予定しておりますので、時間になりましたらお席にお戻りいただけますようお願いいたします。 ・・・・・・・・・・休憩・・・・・・・・・・
近藤会長	それでは時間となりましたので、審議会を再開します。先ほどのグループ討議の協議結果につきまして、事務局より報告をお願いします。
事務局	主要課題Ⅳの担当班では、ワークライフバランスを中心とした意見が出ておりました。まず、みんなが自分のために休める職場家庭づくり、対して、働きたい人はとことん働ける環境というのも作っていく必要があるとの意見がありました。また、市民意識調査での「ワークライフバランスに関する優先度の現状」について、年代別のグラフがあれば、世代ごとの現状がわかって興味深いのではとの意見もありました。 ○主要課題Ⅳ担当班で出た意見（箇条書き）

-
- ・働きたい人はとことん働ける
 - ・ワークライフバランスについて、自分でバランスをとりたい
 - ・ワークライフバランスに関して年代別にアンケートをとる
 - ・みんなが休みやすい環境づくり
 - ・ワークライフバランスについて、男女での優先するものが同じになれば
 - ・自分のために休める職場家庭づくり

続いて、主要課題Ⅴの担当班では、主に次の2つの意見が出ました。1つ目は、地域で活躍できる女性防災士に関することです。市内には、会社で防災士の資格を取っている方が多くいるものの、実際に防災士としては社内でしか活動していない方がほとんどであるため、地域で活動してもらうための体制作りが必要ではないかという意見がありました。2つ目は、市外、県外に転出した学生が新居浜市でUターン就職してもらいやすくするための環境づくりについてです。そのためには、働きやすい環境づくりを進めて魅力ある働き口を作ることや、若い人が楽しめるイベントを開催することが必要であるという意見がありました。

○主要課題Ⅴ担当班で出た意見（箇条書き）

- ・各地域において女性防災士を増やす
 - ・防災活動に外国人も参加してもらう
 - ・様々な団体長の女性登用の数値化（ボランティア団体含む）
 - ・日本人（新居浜人）と外国の方とのふれあいの場を増やす
 - ・市の審議会委員女性を増やす
 - ・女性リーダーの育成について、家庭との両立は難しい
 - ・Uターンできる環境（働き口等）
 - ・女性が仕事しやすい環境
-

	・子育てしやすい施設をつくる 最後に、主要課題Ⅵの担当班では、地域コミュニティに関するご意見がありました。高齢者から学生までいろいろな世代が交流できるサークルのようなものを作り、企業と連携して、退職が近い60歳を迎える人を対象にサークルへの加入を勧める。そうすることで、コミュニティが作れるのではないかと意見がありました。また、地域コミュニティというと規模が大きいイメージがありますが、5人くらいの小さなコミュニティを作ることで、そのコミュニティに属している人同士が互いのことをより把握しやすくなり、コミュニティの再生にもつながるのではないかと意見もありました。 ○主要課題Ⅵ担当班で出た意見（箇条書き） ・ハガキやQRコードを送って参加の機会を増やす ・外に出ること、一人ではと億劫な人たちのために生き生き課をつくって相談しやすい場所をつくる ・相談窓口を増やす ・家庭でのストレスを相談できる窓口 ・企業と協力して健康支援（現役世代から正しい生活環境を） ・60歳を迎える人に軽スポーツ（テーブルゲーム）サークルのすすめ ・学生と地域の人で体を動かす交流をする ・男女、年齢関係なく参加しやすい料理教室をつくる（知ってもらう） ・子育て支援体制の細かい内容を知る機会 ・貧困世帯の把握と支援の強化 ・地域コミュニティの再生（より小さいコミュニティ）
--	--

近藤会長	ありがとうございました。本当にいろいろな意見が出た中で、主要課題Ⅳのワークライフバランスのところを少しだけ補足させていただくと、休みやすいとか働きやすいとか、それから今の時期は頑張って働きたい、自分の成長をもっと大事にしたいということになると、ワークライフバランスは、みんなが休めたらいいとか、楽になればいいということではなくて、自分のライフステージに合わせた形で、今頑張り時とか、今ちょっと家庭に重きを置きたいとか、そういうふうには自分で自分の人生を選べるということが一番大事な事かなと思うので、ワークライフバランスと言った時に、何で有休がとか、育児休業がとか、介護がとかではなく、私の人生にとってその時一番大事なものの、大事な時間が何かというのも、私が選択して、選び取れるというふうに理解していただけたら嬉しいなと思いました。先ほどの事務局の報告内容について、何かご意見、ご質問、補足等ありましたらお願いします。 (質疑なし)
近藤会長	ご意見がないようでしたら、協議内容２に移らせていただきます。資料④をご覧ください。 先ほどのグループ討議の結果を踏まえて、数値目標を含めた計画案全体について修正すべき点や、新たに盛り込んだ方がよい内容等がありましたら、ご意見をお願いします。また、計画案に対するご質問についても何かありましたら、ご発言ください。 (意見・質疑なし)

近藤会長	ご意見、ご質問がないようでしたら、以上ですべての協議を終了とさせていただきます。みなさんご協力ありがとうございました。 それでは、閉会の挨拶を本田副会長よりお願いします。 ・・・・・・・・・・本田副会長 挨拶・・・・・・・・・・
近藤会長	ありがとうございました。これもちまして、「令和7年度第2回新居浜市男女共同参画審議会」を終了いたします。 皆さん、お忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございました。本日は、これにて散会いたします。お疲れ様でした。